

長野市議会議長
小林 義直 様

2017年6月9日

請願者 長野生活と健康を守る会 会長 原田 誠之
住所 長野市上野 2-105-1

紹介議員

西村 裕子 佐藤 久美子
望月 義寿

生出 光 阿部 孝二
小泉 一真 黒沢 清一

就学援助制度の改善を求める請願

【請願趣旨】

広がり続ける子どもの格差と貧困は深刻となっています。どの子ども新学期を期待や希望に胸おどらせて迎えることのできるよう、就学援助制度の改善が求められています。就学援助は、生活保護を受ける世帯やそれに準ずる低所得者に、学校生活にかかる諸費用を、国と市町村が援助する制度です。

しかし、「入学時にお金がかかるのに、入学準備金の支給が8月では困ります」との切実な声が寄せられています。すでに当事者の要望に応え、就学援助の前倒し支給を実施・あるいは実施予定の自治体が増えています。県内でも松本市はじめ6自治体の実施ないしは予定をしています。

文科省も、要保護者への支給は年度の当初から開始し、児童生徒が援助を必要とする時期に速やかに支給することができるよう配慮すべきと、市町村に留意するよう求めています。長野市もすべての子どもたちが、お金に心配なく元気に学校に通え、等しく教育を受けることのできるよう、就学援助制度の改善を求め、以下の項目により請願します。

【請願項目】

- 1、 就学援助金は、入学準備費用にふさわしく「就学援助前倒し支給」にすること。